

# 商 経 学 叢

第48巻 第3号



## 論 文

- 商 学 編 —  
 グローバルR&Dネットワークの分析枠組み ……………田 端 昌 平 1
- 経 済 学 編 —  
 「IT革命」による体制改革の構想  
 —「新・日本型統合システム」の構築を目指して—……………桜 井 等 至 27
- 東大阪市中小企業におけるIT化の要因分析  
 —プロビットモデルの適用試論—……………平 井 聖 司 67
- 薬師寺 洋 之  
 斎 藤 伸 孝  
 地理的経済集積の計測と可視化について……………薬師寺 洋 之 77
- 食品商社「東食」の経営悪化時におけるメインバンクの対応……………山 中 宏 99
- 経 営 学 編 —  
 K.ハーゲストの『自己金融論』についての一考察 ……………牧 浦 健 二 109
- 多国籍企業と受入国：ルクロウ＝モリソン・モデルの検討……………長谷川 容 子 133
- 専門的知識の実践的運用に関する考察  
 —プロフェッショナルの知識運用における  
 ふたつのインターフェイス—……………小 川 千 里 151
- 会 計 学 編 —  
 財務会計の展開  
 —取得原価、時価、そして情報の検討—……………興 津 裕 康 165

## 研究ノート

- ドイツ会計理論における債権者保護思考の変遷……………林 良 治 177
- 後入先出法の審議過程……………毛 利 敏 彦 191

2002年3月

## 近畿大学商経学会

# 商経学叢 第48巻 総目次

## 論 文

	号	頁	通頁
総合商社と企業論理についての一考察 .....	飛 鳥 茂 隆	1	1 1
IT革命と脱下請戦略 ——東大阪中小企業の B2B 市場への参加—— .....平 井 聖 司・薬師寺 洋 之・斎 藤 伸 孝		1	21 21
成長、資本移動と財政・金融政策 ——小国開放経済の経済政策におけるリスクプレミアムと時間選好率の影響—— .....高 屋 定 美		1	39 39
メインバンクの監視機能とコーポレート・ガバナンス ...	山 中 宏	1	53 53
チームの規模とフリーライダー問題 .....	清 滝 ふ み	1	61 61
三大都市圏における住宅地平均地価の分析 .....	大 村 雄 史	1	75 75
企業グループにおける「統合」問題と出向 .....	團 泰 雄	1	103 103
衆知の経営に関する深層心理学的接近 ——経営者意識調査(8)—— .....	大 森 弘	2	1 125
W. プリオンの『自己金融論』についての一考察 .....	牧 浦 健 二	2	21 145
システム開発工数の推定 .....	大 村 雄 史	2	39 163
中小企業のドメイン再定義の事例考察 ——最近の経営動向によせて —— .....	芦 塚 格	2	57 181
日本ホテル企業の海外事業展開に関する事例研究： 国内ホテル専業会社の海外展開への取り組み .....	四 宮 由 紀 子	2	69 193
17世紀後半におけるイギリス東インド会社の航路網の推移 .....	藪 下 信 幸	2	89 213
「高度情報社会」の到来：総合福祉政策論の 視角から見た「IT」革命 .....	桜 井 等 至	2	113 237
メインバンクによる経営悪化企業の救済 .....	山 中 宏	2	149 273
源泉地主義に基づく資本課税の厚生分析 .....	坂 本 真 子	2	167 291
企業目的と戦略的環境政策 .....	福 井 太 郎	2	195 319
後入先出法の立法 .....	毛 利 敏 彦	2	211 335
時価会計・企業統合に関する実態分析 .....	浦 崎 直 浩	2	235 359

グローバルR&Dネットワークの分析枠組み .....	田 端 昌 平	3	1	405
「IT革命」による体制改革の構想 —「新・日本型統合システム」の構築を目指して— .....	桜 井・等 至	3	27	431
東大阪市中小企業におけるIT化の要因分析 ——プロビットモデルの適用試論—— .....	平 井 聖 司 薬師寺 洋 之 斎 藤 伸 孝	3	67	471
地理的経済集積の計測と可視化について .....	薬師寺 洋 之	3	77	481
食品商社「東食」の経営悪化時におけるメインバンクの対応 .....	山 中 宏	3	99	503
K.ハーゲストの『自己金融論』についての一考察 .....	牧 浦 健 二	3	109	513
多国籍企業と受入国：ルクロウ＝モリソン・モデルの検討 .....	長谷川 容 子	3	133	537
専門的知識の実践的運用に関する考察 ——プロフェッショナルの知識運用における ふたつのインターフェイス—— .....	小 川 千 里	3	151	555
財務会計の展開 ——取得原価、時価、そして情報の検討—— .....	興 津 裕 康	3	165	569

#### 研究ノート

ドイツ会計理論における債権者保護思考の変遷 .....	林 良 治	3	177	581
後入先出法の審議過程 .....	毛 利 敏 彦	3	191	595

#### 書 評

百合草裕康『キャッシュ・フロー会計情報の有用性』 .....	浦 崎 直 浩	2	257	381
--------------------------------	---------	---	-----	-----

商経学叢 第48巻

発行年月

第1号（通巻第130号）.....2001年7月

第2号（通巻第131号）.....2001年12月

第3号（通巻第132号）.....2002年3月

## 《 報 告 》

1. ワーキングペーパーシリーズが50号に達しましたので、この機会に1号から50号までの目録を掲載します。ワーキングペーパーに関するお問い合わせは、近畿大学中央図書館 事務部・図書総務課まで、お願いします。

### 近畿大学 商経学部 ワーキングペーパーシリーズ 目録

号	著者名	タイトル	発行年月
1	石黒 靖子	日本的雇用制度の変更に關する一考察	1994年 3月
2	高屋 定美	政策協調の論理とその現実	1994年 3月
3	林 良治	モックスター貸借対照表論研究の新展開	1994年 6月
4	中井 英雄	英國の地方財政構造 一地方財政責任の日英比較一	1994年 7月
5	桜井 等至	総合福祉政策論の視角 一システムズ・アプローチの試み一	1994年 9月
6	牧浦 健二	近代的な総合管理制度と流動性概念の多義化 一投資決定モデル、短期資金計画と期間貸借対照表を中心に於て一	1994年10月
7	高屋 定美	基軸通貨の交替とアメリカの債務国化	1994年10月
8	高須 教夫	連結財務諸表作成実務に対する会計原則審議会意見書第18号のインパクト	1994年11月
9	牧浦 健二	ドイツの経営財務論の現状と特徴について	1995年 4月
10	高屋 定美	現代変動相場制の理論と現実	1995年 5月
11	中井 英雄	英國地方自治体の財政責任システム	1995年 7月
12	石黒 靖子	不完全競争下の技術選択と投資決定	1995年 7月
13	斎藤 伸孝 平井 聖司	大阪府経済のマクロ計量モデル作成 一空洞化・サービス化の分析のために一	1995年 8月
14	石黒 靖子	Technology Choice and Investment Theory under Imperfect Competition	1995年 8月
15	高須 教夫	FASB概念フレームワークにおける資産負債アプローチの簿記計算システム	1995年 9月
16	高須 教夫	アメリカ会計の動向 一FASB概念フレームワークにおける利益観をめぐる展開一	1995年10月
17	牧浦 健二	フォンド計算と運動計算についての一考察 一L. ラハニットの貸借対照計算を中心に於て一	1995年10月
18	牧浦 健二	企業計算制度における資金計画の位置づけと体系化についての一考察 一K. シュミーレグッツの主張を中心に於て一	1996年 2月
19	牧浦 健二	総合管理制度による資本需要と資本フォンドの調整 一E. ゲーテンベルクの主張を中心に於て一	1996年 4月
20	中井 英雄	日本の中央依存型財政責任システム 一行政コストと財政支援の財政責任一	1996年 4月
21	中井 英雄	日本型地方分権の財政責任システム	1996年 4月
22	中井 英雄	ドイツ地方自治体の財政責任システム 一研究ノート一	1996年 5月
23	高須 教夫	FASB概念フレームワークにおける簿記計算システムの展開 一資産負債アプローチと収益費用アプローチ一	1996年 7月
24	斎藤 伸孝 内田 幸夫 平井 聖司	計量経済モデルのモデリングとシュミレーションのための超簡易システムxasp 一TSPとawkを使って一	1996年 8月
25	中井 英雄	The Distributive Effects of the Reduction of Local Tax and Specific Grants on Municipalities in Japan	1996年 9月

26	高須 教夫	連結財務諸表をめぐるイメージの相剋	1997年 3月
27	高須 教夫	現代簿記の諸問題 一会計機能の変容と複式簿記システム一	1997年 3月
28	中井 英雄 伊藤 弘文 齋藤 慎	ドイツ地方自治体の財政責任システム	1997年 9月
29	林 芳男	Solving the Real Coefficients 0-1 Knapsack Problem via a Maximal Value Path Problem	1997年 9月
30	高須 教夫	FASB概念フレームワークにみる「計算」と「情報」	1998年12月
31	西山 博幸	多国籍企業の生産 一投資決定について一	1998年12月
32	藤本 正樹	Gain from the Use of Precise Information in Games with a Large Number of Interacting Agent: A Convention as a Long-run Equilibrium of Repeated Coordination Games	1998年11月 /1999年2月改訂
33	毛利 敏彦	企業理論と会計の役割	1999年 5月
34	清滝 ふみ	昇進競争における敗者復活の効果	1999年 6月
35	牧浦 健二	「キャッシュフロー」概念の導入と経営診断についての一考察	1999年 8月
36	牧浦 健二	社会科学の立場から『経営学』の認識対象を模索して	1999年 9月
37	中井 英雄	地方財政における補完性の原理 一公民と自治体間の連携一	1999年10月
38	牧浦 健二	経営診断の領域再発見についての一考察 一E. グーテンベルクの経営経済学から学ぶ一	2000年 2月
39	高屋 定美	欧州中央銀行制度の独立性とユーロ圏のマクロ経済パフォーマンス	2000年 2月
40	高屋 定美	The European Monetary Union, the Fiscal Policy Restraints and Labor Market Reforms	2000年 2月
41	藤本 正樹	Internal and External Sanctions and Work Norm	2000年 2月
42	長谷川容子	Development of Japanese MNEs	2000年 4月
43	牧浦 健二	財務管理論のドイツにおける歴史について	2000年 7月
44	小川 禎友	Optimal Commodity Taxation in the Presence of Income Taxes	2000年 7月
45	牧浦 健二	時価概念を使用した経営管理についての一考察	2000年 9月
46	堀田 和宏	ハンスマンの非営利組織役割論 一契約失敗理論を中心として一	2001年 7月
47	牧浦 健二	W.プリオンの『自己金融論』についての一考察	2001年 8月
48	牧浦 健二	ハーゲストの『自己金融』についての一考察	2001年 9月
49	西山 博之	Foreign direct investment and open economy macroeconomics	2001年12月
50	四宮由紀子	日本ホテル企業の海外展開に関する事例研究 一航空系、鉄道系、専業ホテル会社の事例一	2001年12月

2. 近畿大学商経学会は次の著書を出版しました。

米倉 昭夫 著『東アジアの輸出工業化と多国籍企業』 平成13年12月刊。

3. 近畿大学商経学会は平成13年度に次のような学内講演会を開催しました。

#### 商経学会春季講演会

開催日 平成13年6月20日(水曜日) 午後1時～4時, 会場:20号館1-A教室

講演者および演題

鴻池 俊憲 教授 経済学の歴史的脈絡  
鈴木 伸太郎 助教授 教養の射程

#### 商経学会新春講演会

開催日 平成14年1月16日(水曜日) 午後1時～4時, 会場:20号館1-A教室

後援者および演題

堀田 和宏 教授 公益法人改革について  
四宮 由紀子 講師 日本ホテル企業の海外展開

# 商 經 学 会 規 約

- 第 1 条 本学会は近畿大学商経学会と称する。
- 第 2 条 本学会の事務所は本学商経学部資料室内におく。
- 第 3 条 本学会は商学，経営学，経済学に関する調査研究及びその成果の発表を目的とする。
- 第 4 条 本学会は本学商経学部及び大学院商学研究科及び経済学研究科の専任の教授，助教授，講師，助手，副手を以って組織する。
- 第 5 条 本学会は次の事業を行う。
1. 機関雑誌「商経学叢」（年 3 回刊行），その他の調査研究報告等の刊行。
  2. 研究会，講演会，見学会等の開催。
  3. 調査，研究資料の蒐集及整備。
  4. 商経学部及び大学院商学研究科及び経済学研究科の学生の研究助成。
  5. その他本学会の目的達成に必要とする事項。
- 第 6 条 本学会の刊行物は無償又は有償にて配布する。
- 第 7 条 本学会には次の委員をおく。
1. 委 員 長 1 名
  2. 企 画 委 員 若干名
  3. 編 集 委 員 若干名
  4. 庶務会計委員 若干名
- 第 8 条 1. 委員長は商経学部長とし，本会を代表し会員中より委員を委嘱する。  
2. 委員の任期は 2 ケ年とする。
- 第 9 条 本学会の年度は 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日迄とし，本学会の運営に必要な経費は商経学部運営費の内より支弁する。
- 備 考 従来の商経学会は納入金費目の改正により解消し，同一名称の商経学会が商経学部教員の研究会として昭和 41 年度より発足した。

---

商 經 学 会 委 員 長 上 野 秀 夫

第 135 号 編 集 委 員 長 中 村 進

編 集 委 員 林 芳 男 浦 崎 直 浩 福 田 泰 幸  
高 屋 定 美 山 中 宏 大 村 雄 史  
長 谷 川 容 子 清 滝 ふ み

論 文

経営学編

衆知の経営にかんする深層心理学的接近

——経営者意識論(8)—— ……………大 森 弘

W. プリオンの『自己金融論』についての一考察……………牧 浦 健 二

システム開発工数の推定……………大 村 雄 史

中小企業のドメイン再定義の事例考察

——最近の経営動向によせて—— ……………芦 塚 格

日本ホテル企業の海外事業展開に関する事例研究：

〔国内ホテル専業会社の海外展開への取り組み〕……………四 宮 由紀子

17世紀前半におけるイギリス東インド会社の航路網の推移……………藪 下 信 幸

経済学編

「高度情報社会」の到来：総合福祉政策論の

視角から見た「IT 革命」……………桜 井 等 至

メインバンクによる経営悪化企業の救済……………山 中 宏

源泉地主義に基づく資本課税の厚生分析……………坂 本 真 子

企業目的と戦略的環境政策……………福 井 太 郎

会計学編

後入先出法の立法……………毛 利 敏 彦

時価会計・企業統治に関する実態分析……………浦 崎 直 浩

書 評

百合草裕康著『キャッシュ・フロー会計情報の有用性』……………浦 崎 直 浩

### 執筆者紹介 (掲載順)

田端昌平……本学商経学部教授  
桜井等至……本学商経学部教授  
平井聖司……本学商経学部教授  
葉師寺洋之……本学商経学部助教授  
斎藤伸孝……本学商経学部非常勤講師  
山中宏……本学商経学部助教授  
牧浦健二……本学商経学部教授  
長谷川容子……本学商経学部講師  
小川千里……本学商経学部講師  
興津裕康……本学商経学部教授  
林良治……本学商経学部教授  
毛利敏彦……本学商経学部教授

商経学叢 第48巻第3号 (通巻第135号)

---

2002年3月10日印刷

2002年3月20日発行

編集 近畿大学商経学会

発行人 上野秀夫

発行所 東大阪市小若江3丁目4番1号

近畿大学商経学部

郵便番号 577-8502 電話番号 (06)6721-2332

印刷所 近畿大学 管理部 出版印刷課



# SHOKEI-GAKUSO

*JOURNAL OF BUSINESS AND ECONOMICS*

Vol. 48 No. 3

March 2002

## 《Articles》

- An Analytical Framework for Global R&D Network .....Shohei Tabata  
An Idea of System Reform by the "IT Revolution" .....Hitoshi Sakurai  
An Analysis of IT Revolution in Higashi-Osaka City  
—A Tentative Application of Probit Model— .....Seishi Hirai  
Hiroyuki Yakushiji  
Nobutaka Saito
- On Measurement and Visualization of  
Regional Economic Agglomeration .....Hiroyuki Yakushiji  
Main Bank Relief of Financially Distressed  
Food Trading Company "Toushoku" .....Hiroshi Yamanaka  
On the Study of Self-financing  
—The Central Idea Proposed by K.Hagest— .....Kenji Makiura  
Transnational Corporations and Host Countries:  
A Study on the Lecraw-Morrison Model.....Yoko Hasegawa  
Professional Knowledge in Practice:  
two interfaces when professionals carry out actions .....Chisato Ogawa  
The Development of Financial Accounting  
—Some Examination of Historical Cost,  
Market Value and Information— .....Hiroyasu Okitsu
- ## 《Notes》
- An Inquiry into the Changes in Creditor-protection  
in German Accounting Theory .....Ryoji Hayashi  
The Congressional Deliberations on the Last-in, First-out Method .....Toshihiko Mohri

Published  
by

THE SOCIETY OF BUSINESS AND ECONOMICS

KINKI UNIVERSITY

Higashi-Osaka, OSAKA, JAPAN

近畿大学中央図書館

